

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.50 (2020.5.27)

令和2年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
全てのステークホルダーの満足度向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

「禍福は糾える縄の如し」（かふくはあざなえるなわのごとし）とは、よりあわせた縄の表と裏が交互にやってくるということをたとえて、「幸福」と「不幸」は変転するという意味のことわざです。文脈としては「だからくよくよしていても仕方がない」という意味で、どちらかといえばつらい状態のときに用いられる人生訓です。また「この世の現実存在（森羅万象）は全て、すがたも本質も常に流動変化するもの」という意味の「諸行無常」も、栄枯盛衰を表現した四文字熟語として知られています。

昨年の今頃は新しい元号「令和」の制定に国内は沸き、今年1月にはJ N T O（日本政府観光局）が2019年のインバウンドが3188万人と過去最高を更新したと発表、日本人の誰もが東京オリンピックの開催に胸を膨らませておりました。激変という言葉では表現し足りないほどの変化を私たちは目の当たりにしており、この「新型コロナ禍」は改めて前述の言葉のように「良いことも悪いことも永続することは無い」という真実を私たちに教えてくれています。

さて過去の改元2年目は波乱の年というジンクスについての記事が有りましたので紹介します。

- ① 明治2年（1869年）、廃藩置県で新しい国家が形成。通貨「円」が制定。
- ② 大正2年（1913年）、フィリピンで東洋初のオリンピック開催。当時歴代内閣最長の在任記録2886日を誇っていた山口県出身の桂太郎内閣が総辞職。翌大正3年8月に底を打った株価は第一次世界大戦に突入して高騰。
- ③ 昭和2年（1927年）、東京渡辺銀行の資金繰りが悪化したという一報を聞いた当時の片岡大蔵大臣が、3月14日の衆議院予算総会で「東京渡辺銀行が破綻した」と誤って発言、失言を契機に昭和金融恐慌が始まる。
- ④ 平成2年（1990年）、前年の消費税導入に続き土地の総量規制や金融引き締めでバブル崩壊、この後日経平均株価はおおよそ20年間にわたり低迷。地価下落・不良債権拡大・大手金融機関の破綻などが起きた。
- ⑤ 令和2年（2020年）、……………

新型コロナの感染者数は確実に減少しておりますが、油断することなく手洗い・マスク着用・三密の回避など、これまでの取組を継続し、当社および周辺からの感染者を出さないように取り組んで参りましょう。また今のところ建設業界の受注環境はそれほど悪化はしていませんが、観光宿泊や飲食関係は大変な状況にあります。収束後には是非地元の飲食業や県内の宿泊施設を利用し、地元経済の回復に協力して参りたいと思います。

仏式地鎮祭（K様邸）

4月28日、仏式による地鎮祭が執り行われました。



般若心経で始まるという初めての経験でしたが、最後はお神酒ではなくお茶とお菓子を頂きまして、参加者は喜んでおりました。

第19回社内施工技術発表会



5月9日第19回社内施工技術発表会がおこなわれました。今回は残念ながらコロナの影響で審査員と発表者のみの参加でしたが、最優秀賞には藤原良太君の「鶴泉荘解体工事」が選ばれました。

5月9日第19回社内施工技術発表会がおこなわれました。今回は残念ながら



ユニオン建設盛岡支店様来社



5月15日ユニオン建設盛岡支店より鎌田支店長が見えられ、令和元年度工事における安

全と品質の確保に対する感謝状を頂きました。

